



ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより

令和8年10月2日発行 第7号

学校教育目標『ひとりだちする生徒』

Tel049-222-2753 Fax049-229-1231

「自分の力」+「仲間の力」で臨む現場実習

校長 遠山 知子

9月の体育祭では、仲間と声を合わせた応援合戦、1学期から練習してきたソーラン節、最後まで接戦となった各競技など、一人では作ることのできない、みんなの力が結集したかけがえのない体育祭となりました。保護者の皆様、ご家族の皆様には、早朝より、たくさんの温かいご声援をいただきありがとうございました。

いよいよ10月は、全学年が産業現場等における現場実習に臨みます。学年によって、そのめあては異なりますが、この実習は、生徒にとって大きな山場となります。一人ひとりが学校を離れて、異なる現場に向かいますが、生徒は決して一人ではありません。本校の進路指導の特色でもあります、学年ごとに、同じ日から実習をはじめの一斉開始方式により、「みんなも今、頑張っている」ということで、力が+（プラス）されます。それぞれの現場で自分の力を発揮してきてほしいと願っています。今月は、保護者の皆様にご協力をいただく場面が多くなりますが、「ひとりだち」に向けてお力添えをいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

The road to hitoridachi



9/19 体育祭の様子

今月の「ひとりだちへの道」 2学期の目標は「ひとりだち+α」です。

本年度の合言葉「ふやす・かためる・つなぐ」

いよいよ全員現場実習!10月の目標は

1年生は「ふやす」

～学校で身につけたことを学校外でやってみよう～

「学校ではできる」から「学校を離れてもできる」へ

- ・あいさつをする ・返事をする ・話をよく聞く
- ・聞いたことを考えて行動する

2年生は「かためる」

～3回目の現場実習持っている力を出し切ろう～

「自分の力」を「確かな力」へ

- ・「これは自分にできる」と思えること
- ・「自信をもってできる」こと

3年生は「つなぐ」

～6回目の現場実習 卒業後の「ひとりだち」へ

「これまでの力」を「これから」へ

- ・これまで身につけた力を、すべて出す
- ・卒業後につながる経験をする
- ・確かな手ごたえを、自分の力でつかみ取る

○実習に行く前に先輩と話そう

これまでの経験を話してもらおうと安心します。

○実習が終わったら、たくさん語り合おう

がんばったことを話しましょう。

話す人にも



聞く人にも

